

ベトナム国ダナン市での第9回ダナン都市開発フォーラム分科会及び ごみ分別促進にかかる JICA 草の根技術協力事業の成果報告会について



<Y-PORT 事業について>

横浜市 Y-PORT 事業では、市内企業と連携しながら海外都市の都市課題の解決に資する案件の発掘や事業化調査及び実証事業等の推進による事業化に取り組んでいます。

1. 第9回ダナン都市開発フォーラム分科会の開催

2019年9月9～11日に本市において開催された第9回ダナン都市開発フォーラムの結果を受けて、具体事業の形成等について議論するために、(1)環境管理計画、(2)省エネルギー分野、(3)排水処理分野の3分科会を以下の要領でダナン市にて開催しました。

第9回ダナン都市開発フォーラム分科会

<日程>

2019年12月19日(木)

- 分科会①ダナン市環境管理計画について
- 合同調査

2019年12月20日(金)

- 分科会②省エネルギー分野
- 分科会③排水処理分野
- ダナン市人民委員会への表敬訪問・協議内容報告

<参加機関・企業等>

ベトナム国ダナン市側：計画投資局 (DPI)、天然資源環境局 (DONRE)、環境保全局 (EPA)、商工局 (DOIC)、情報通信局 (DOIT)、建設局 (DOC)、

ダナンハイテクパーク工業団地管理委員等

日本側：株式会社オオスミ、株式会社オートスピリット、JGC Vietnam Co., Ltd.、新明和工業株式会社、地球環境戦略研究機関 (IGES)、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、東京新建装株式会社、日本工営株式会社、Fujita Corporation Vietnam、株式会社マクニカ、ムラタ計測器サービス株式会社 (五十音順)

日本側事務局：横浜市国際局、Y-PORT センター専門家

(1)ダナン市環境管理計画にかかる分科会

<協議内容>

ダナン市の環境管理計画の策定から10年が経過したことを受けて、ダナン市天然資源環境局 (DONRE) 環境保全局 (EPA) から、これまでの計画実施に関する成果や河川や湖沼の水質汚濁等の今後対応すべき環境課題について発表がありました。これに対して、地球環境戦略研究機関 (IGES) からはアジア諸都市における環境ビジョンの先進的な研究事例等、また横浜市からは本市の環境管理計画の取組について紹介をしました。更に、具体的な環境モニタリング・評価手法として、ムラタ計測器サービス株式会社からは環境 (水・大気) のモニタリング・分析技術について、日本工営株式会社からは人流データの活用等について紹介がありました。

<協議結果>

両市は、次期のダナン市環境 10 年計画を策定するにあたって、横浜市の知見を活用しながら協力することを確認しました。また、現在両市間で進めている事業成果を環境管理計画の策定に活かしていくことを確認しました。



ダナン市環境管理計画にかかる分科会の様子

(2)省エネルギーにかかる分科会

<協議内容>

ダナン市商工局(DOIC)及び情報通信局(DOIT)から、ベトナム国及びダナン市における省エネルギー政策に関する法制度や住民啓発等の今後の優先課題が共有されました。これを受けて、市内企業等から以下のソリューションが提案されました。

- 省エネルギーのためのワンストップサービス（株式会社オオスミ）
- エネルギー制御及び省エネ型照明（株式会社マクニカ）
- 省エネ及び耐震補強のための塗料材（株式会社オートスピリット、東京新建装株式会社）

<協議結果>

ダナン市の行政及び企業の省エネ技術に対する関心は高く、今回提案された技術の実証事業を希望する声が多く上がりました。これを実現するために、両市は、二国間クレジット制度（JCM）や緑の気候基金（GCF）等のファイナンス制度の活用を引き続き検討することにしました。また、株式会社オオスミが次年度から着手予定の JICA 草の根技術協力事業「簡易測定法を用いた省エネ診断・対策提案事業及び環境教育推進の案件化調査」で予定されている実証事業として、横浜市内

企業の技術活用の可能性についても協議がなされました。



省エネルギーに関する分科会の様子

(3)排水処理にかかる分科会

<協議内容>

ダナン市建設局（DOC）及びダナンハイテクパーク工業団地管理委員より、ダナン市内の排水処理の現状及び課題について発表がありました。これに対して、市内企業等から、以下のソリューションが提案されました。

- 省エネ型・低騒音の水処理装置（新明和工業株式会社）
- 水・大気にかかるモニタリングシステム（ムラタ計測器サービス株式会社）
- 総合エンジニアリング（日揮ホールディングス株式会社）

<協議結果>

両市間の議論を通じて、水質汚濁が進むダナン市内の湖沼において水質モニタリングや水質改善のための技術導入のニーズが確認されました。また、両市はこうした技術の導入を環境管理計画に盛り込むことを確認しました。



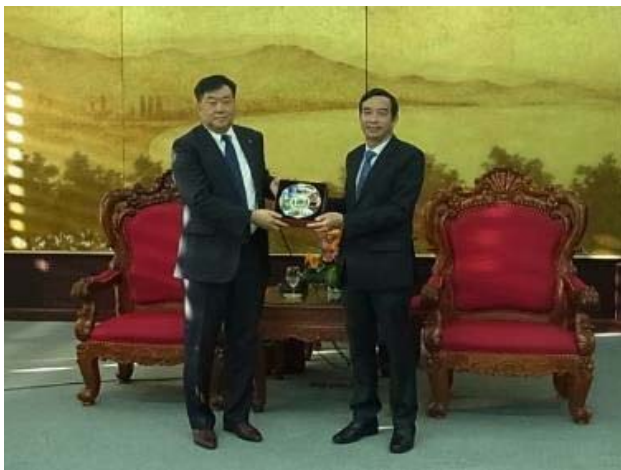
排水・下水処理に関する分科会の様子

(4)ダナン市人民委員会への成果報告

横浜市から、上述の(1)環境管理計画、(2)省エネルギー分野、(3)排水処理分野の3分科会の協議結果についてダナン市人民委員会副委員長（Mr. Le Trung）に詳細報告し、両市間で引き続き緊密に連携することに合意しました。

このほか、ダナン市からダナンハイテクパークやITパークの開発及び企業誘致を進めていることの紹介を受けて、横浜市からは、市内企業が中心になって設立されたYUSAがタイやベトナム等で複合都市開発・スマートシティ開発のコンサルテリング業務に取組んでおりダナン市内のスマートシティ開発においても協働が可能であることを伝えました。また、20年2月に横浜の経済ミッションがダナン市を訪問することを伝え、人民委員会による同ミッションの受入れを依頼しました。さらに、今後の都市間協力に両市が会員都市であるCITYNETのプログラムも活用することを提案しました。

ダナン人民委員会副委員長から、事業形成のための調整窓口を計画投資局としながら人民委員会各案件の所管局を指示することや横浜からの経済ミッションの受入を進めることなど、ダナン市行政として横浜市からの様々な投資がこれまで以上に進むよう取り組むことが伝えられました。



横浜市国際局からダナン市人民委員会への成果報告

2. 家庭ごみ分別促進モデル事業（JICA 草の根技術協力事業）の成果報告

ダナンにおいて3年間実施してきた「家庭系廃

棄物の分別促進モデル事業（JICA 草の根技術協力事業）」の最終成果報告ならびに今後の展望について議論する会合が2019年12月23日にダナン市にて開催されました。

会合では、本事業の主な成果として、モデル地区に選定された2行政区内4町内会における実行計画の策定、分別回収の市民参加と住民意識の向上、分別に係る行動計画の対象区域が全市に拡大される方針決定などが確認されました。横浜市及びJICAから、モデル事業を進めたハイチャウ区およびタンケ区の人民委員会代表の充実した活動成果に敬意を表して、感謝状及び資源ごみ収集カードが手渡されました。

会合では、資源回収が進むことによる以下のような新たな課題も確認され、ダナン市から引き続きの協力要請がありました。

- ・有価物の一次回収方法が地域コミュニティに過度に依存していて持続性に懸念があること
- ・全市展開により見込まれる回収量の増加に対して既存のジャンクショップが対応しきれない可能性があること
- ・資源物の収集量や組成、流通ルートをダナン市行政が十分に把握していないこと



横浜市資源循環局長からの挨拶

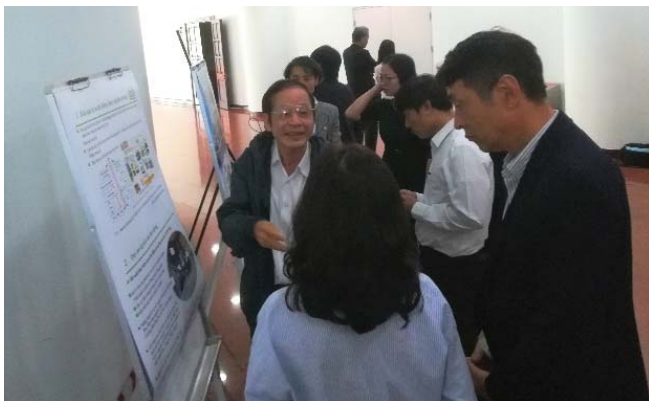


授与式の様子



家庭ごみ分別促進モデル事業報告会の様子

また会合では、市内中小企業3社が参加してポスターセッションを行い、廃棄物処理技術等について紹介しました。



ポスターセッションの様子

さらに、2行政区内で実施されている資源回収の実施状況調査を行いました。また、ダナン市の廃棄物技術向上のために URENCO 及び横浜市の協力企業間でリサイクル事業形成について協議しました。



資源回収の様子

3. メトロセブ都市開発フォーラム参加企業募集のお知らせ

横浜市と都市づくりに関する覚書を締結しているセブ（フィリピン）にて、市内企業の皆様とともに都市課題解決策を提案するためのメトロセブ都市開発フォーラムを以下の日程で開催します。ビジネスマッチングの機会としてもご活用頂きたく、横浜市内企業をはじめとする多くの企業の皆様のご参加をお待ちしております。

メトロセブ都市開発フォーラムの開催概要

① フォーラム

<日程> 2019年2月6日（木）

<場所> フィリピン国セブ市 Citadines Cebu City

<内容（案）>

(1) Mega Cebu Development Goals - 5 Year Plan 等に関する協議

(2) 分科会（ビジネスマッチング）

① 水管理分野

② 防災分野

② 現地合同調査

<日程> 2019年2月7日（金）

<訪問先（案）>

大型リゾートホテル、民間廃棄物処理事業者、道路管制・防災コマンドセンターなど

※申し込み方法、申込書などについては、横浜市国際局 Y-PORT 事業ウェブサイトをご覧ください

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kousaikoryu/yport/news/2020sebuforum.html>

お問合せ先

横浜市国際局国際協力課

〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-8

関内新井ビル 3 階

Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145

E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp